
第 4 章 構成メニュー

構成の概要

本章では構成メニューについて説明します。構成メインメニュー・オプションおよびすべてのサブメニュー・オプションが、メニュー・ダイアグラムで図解され、詳しく説明されています。プログラム・モードへの入り方、構成の保管、再呼び出し、および印刷方法を示す手順については、61 ページの『第 3 章 プリンターの構成』を参照してください。

80 ページの図 68 は、構成メニューの概要を示しています。

オペレーター・パネルから表示されるメニューは、取り付けられた機構によって決まります。たとえば、IPDS 機構を発注した場合には、オペレーター・パネルに IPDS メニューが表示されます。IPDS 機構が取り付けられていない場合には、オペレーター・パネルに IPDS メニューは表示されません。

各機構は、機構を詳しく説明する資料とともに配送されます。これらの資料について詳しくは、xv ページの『資料について』を参照してください。

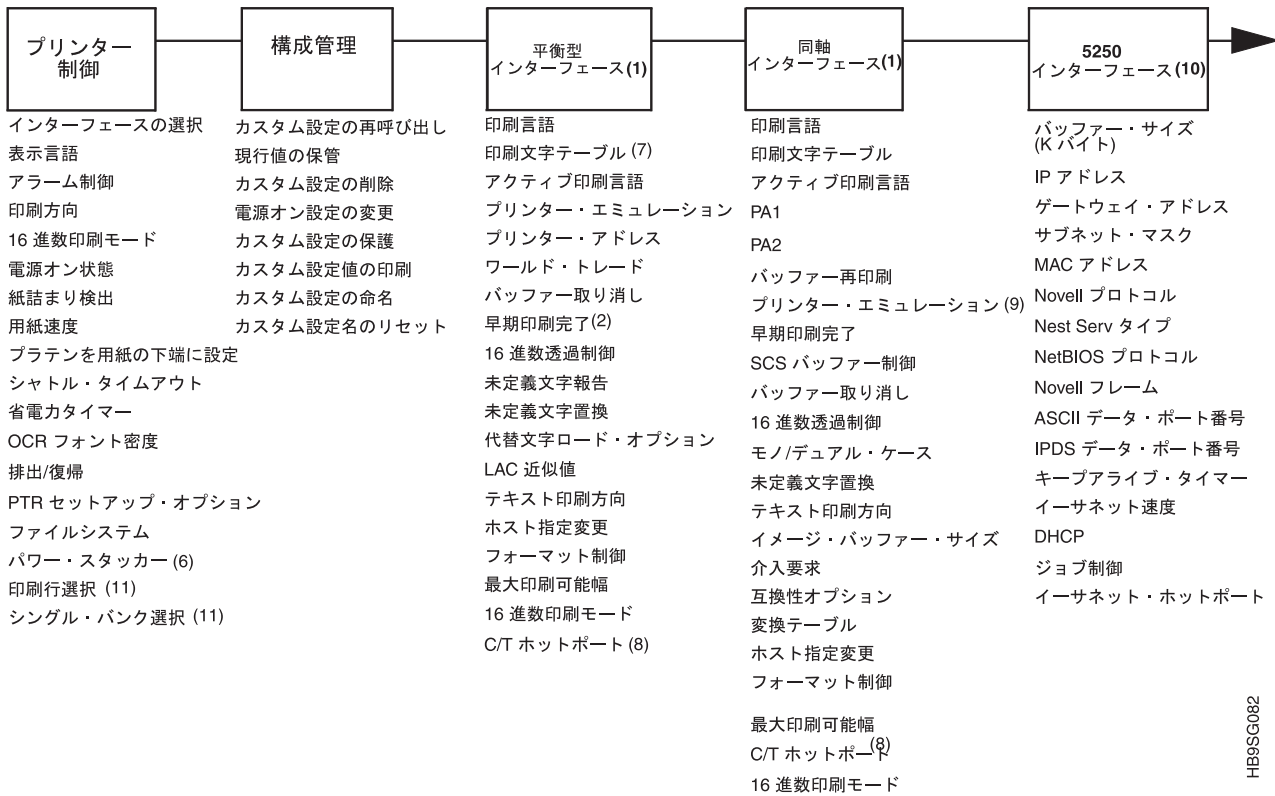
80 ページの構成メニュー図は、構成メニューの構造および各メニューで使用可能なパラメーター・オプションを示しています。図中のメニューおよびオプションは、ユーザーがプリンターの構成を行うためにオペレーター・パネルを使用するときに表示される順番で示されています。工場出荷時のデフォルト構成値はアスタリスク(*)で示されています。

オペレーター・パネルのキー（「Enter」、「Return」、「Scroll↑」、および「Scroll↓」）を押しながら、メニューの中を移動し、オプションに関するさまざまな選択肢を選択することができます。

- 「Enter」キーにより、メニュー構造内の下位レベルへ降りたり、オプション値をアクティブ値として選択することができます。
- 「Return」キーにより、メニュー構造を元に戻すことができます。
- 「Scroll↑」キーにより、特定のメニュー・レベルにおいて各オプションを順方向に進むことができます。
- 「Scroll↓」キーにより、特定のメニュー・レベルにおいて各オプションを逆方向に移動することができます。

これらのキーは、各構成メニュー図の右下にある凡例の囲みの中に要約されています。

メインメニュー

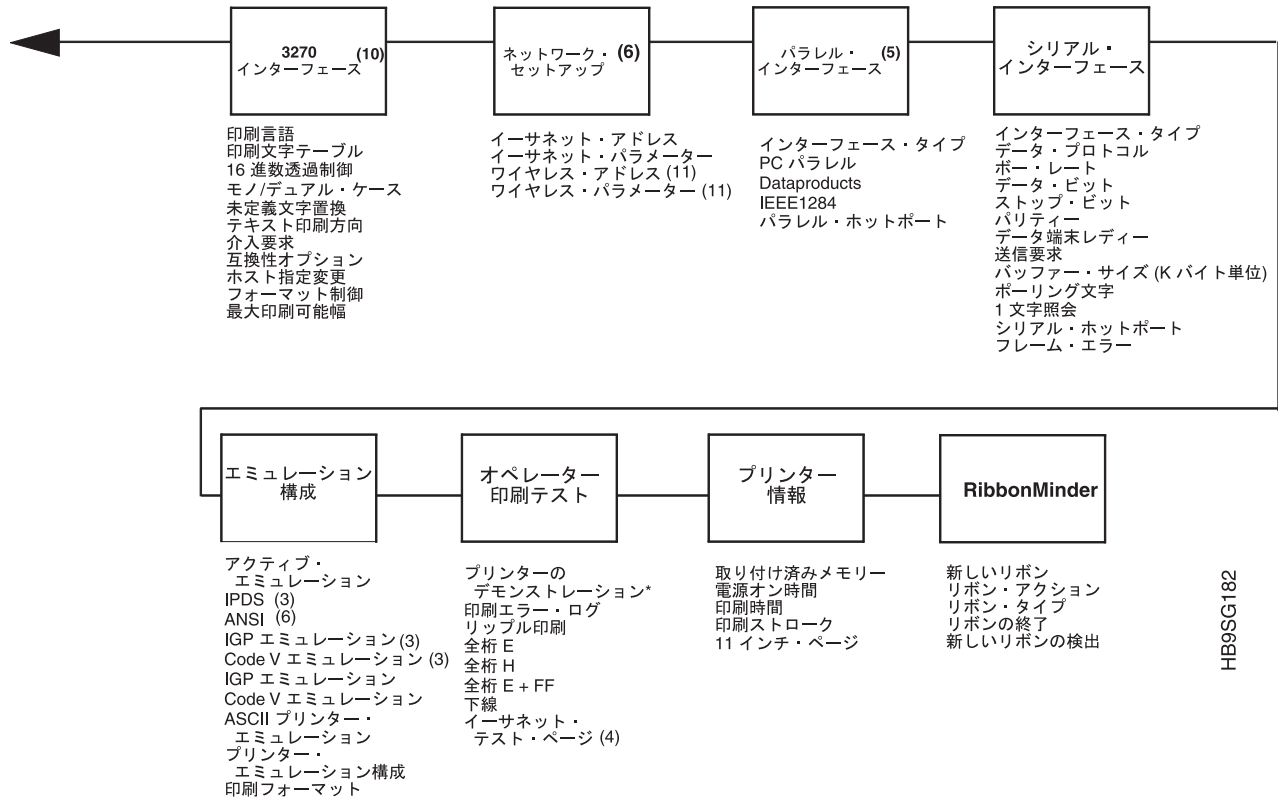


HB9SG082

図 68. 6400i シリーズのメインメニューの構成

注:

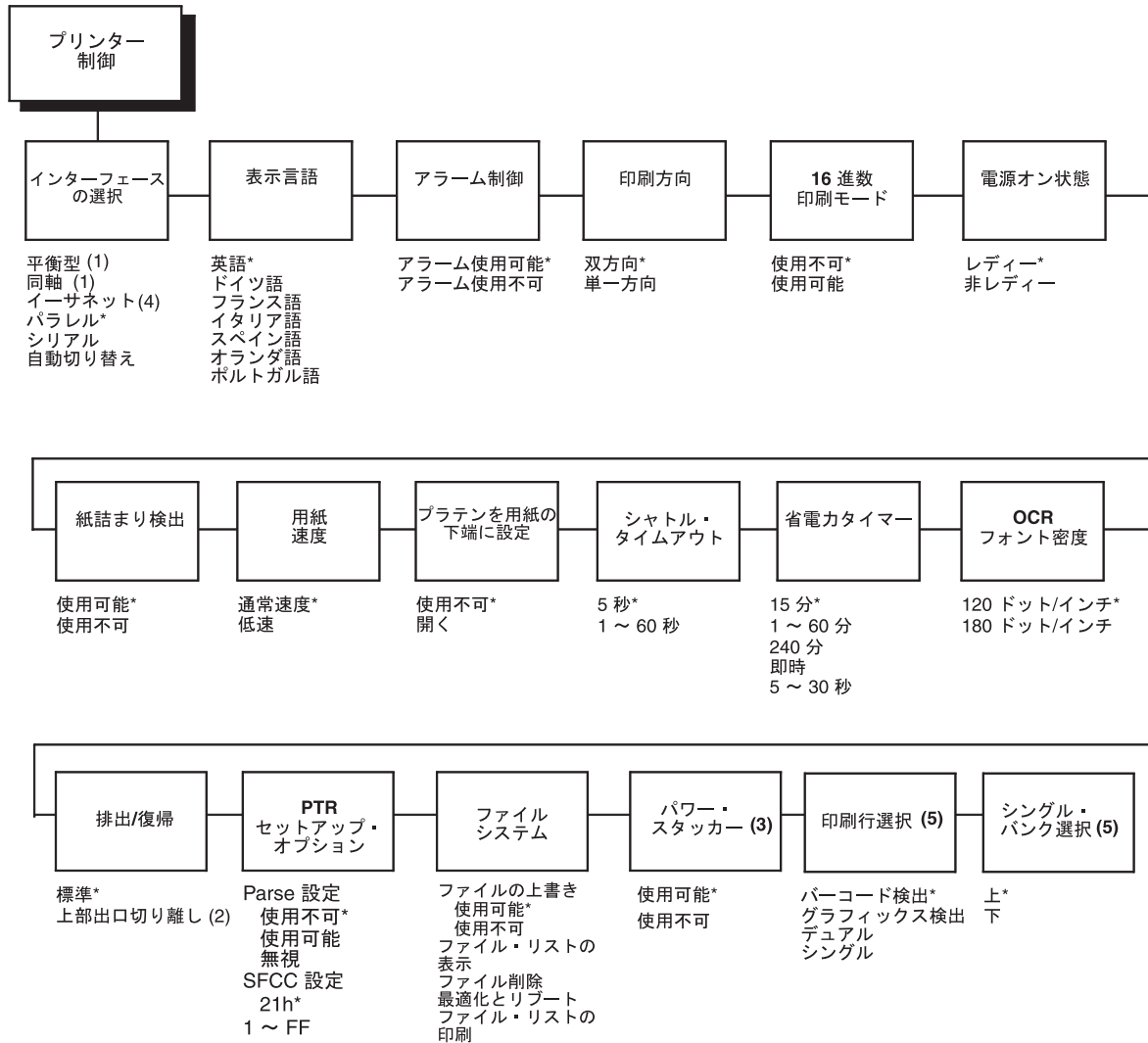
- (1) 同軸/平衡型インターフェース・メニューは、IBM 同軸/平衡型機構が取り付けられている場合にのみ表示されます。
- (2) 「早期印刷完了」オプションは、IPDS 機構が取り付けられている場合にのみ「平衡型」メニューに表示されます。
- (3) IPDS、Code V Emulation、および IGP Emulation の各オプションは、それぞれの機構が取り付けられている場合にのみメニューに表示されます。メニューは『付録 D』に示されています。
- (4) イーサネット情報は、イーサネット機構が取り付けられている場合にのみ表示されます。
- (5) イーサネット・インターフェース・メニューまたはパラレル・インターフェース・メニューは、いずれか一方が表示されます。両方が同時に表示されることはありません。
- (6) 取り付けられている場合。
- (7) 4234-12 が IPDS コードを実行中ではない場合。
- (8) 「Autoswitching」を使用可能にしてある場合のみ。
- (9) 「Coax Emulation」を使用可能にしてある場合のみ。
- (10) 5250 および 3270 のインターフェース・メニューは、TN5250/3270 機構が取り付けられている場合にのみ表示されます。
- (11) 6400-i020 モデルのみ。



HB9SG1182

図 69. 6400i シリーズのメインメニューの構成 (続き)

プリンター制御メニュー



注:

- 同軸/平衡型インターフェース・メニューは、IBM 同軸/平衡型機構が取り付けられている場合にのみ表示されます。
- 上部出口切り離しパスは、脚柱モデルのみ選択できます。
- パワー用紙スタッカーを取り付けた場合。
- イーサネット・インターフェース・メニューまたはパラレル・インターフェース・メニューは、いずれか一方が表示されます。両方が同時に表示されることはありません。
- 6400-020 モデルのみ。

オプションを表示するときに押します:

Scroll ↑ Scroll ↓ Enter Return

Enter

オプションを選択するときに押します: Enter

構成メニューを終了し、READYに戻るときに押します: Start

* = 工場出荷時デフォルト

HB9SG083

インターフェースの選択

インターフェースの選択により、接続機構切り替えのための物理インターフェースを使用可能または使用不可にします。インターフェースが使用不可にされた場合、オフラインに設定され、受け取られたいかなるデータも無視されます。

同軸または平衡型が選択されると、POR 状況がホストに送られます。自動切り替えを選択すると、パラレル、シリアル、および同軸または平衡型のどちらかの通信の間でインターフェースが自動的に切り替わります。一度に 1 つのインターフェースのみを使用可能にできます。自動切り替えホットポートの構成は、次に示すように、該当するインターフェース・メニューから行われます。

注: シリアル、パラレル、および同軸または平衡型の非 IPDS エミュレーションとともに使用される場合、自動切り替えは、インターフェース切り替え時の各エミュレーションの状態を保管しません。この場合、各ジョブの始めにエミュレーションを希望する状態に初期化するのは、ホスト・アプリケーション・プログラムの責任です。用紙を「用紙の上端」および各ジョブの終わりで正しく位置付けるのも、ホスト・アプリケーション・プログラムの責任です。同軸または平衡型 IPDS とともに使用されるとき、自動切り替えは、インターフェース切り替え時に IPDS エミュレーションの状態を保管し、各 IPDS ジョブの終わりに用紙を「用紙の上端」に正しく位置付けます。

表示言語

このパラメーターは、オペレーター・パネルのメッセージが表示される言語を選択します。

アラーム制御

このパラメーターは、音響アラームを使用可能または使用不可にします。音響アラームは、用紙の終わりが起こるときなどに問題を信号で知らせるために使用されます。

印刷方向

PRINT DIRECTION 機構は、印刷品質と印刷速度の両方に影響します。この機構を設定することにより、プリンターを、シャトル移動の双方向 (Bidirectional) で印刷するように、あるいは単一方向のみ (Unidirectional) で印刷するように構成することができます。

バーコード、高品質テキストおよびグラフィックス、あるいは縦方向が厳密にそろうことが要求されるその他の印刷においては、この機構を使用可能にするとよいでしょう。

この機構を使用可能にすると印刷速度は低下しますが、縦方向のドットがそろい、クリアでシャープなバーコードおよびテキストが作成されます。

- Bidirectional (デフォルト) は、双方向のシャトル移動によってすべてのデータを印刷します。この選択では、より高速の印刷が可能です。
- Unidirectional は、単一方向のシャトル移動のみによってすべてのデータを印刷します。この選択により、より高品質の印刷が得られます。

16 進数印刷モード

16 進数コード印刷出力 (または 16 進ダンプ) は、入ってくるすべてのデータを 16 進数に変換します。16 進ダンプは、ホスト・コンピューターから受け取られた各 ASCII データ文字を、対応する 2 桁の 16 進数コードとともにリストします。16 進ダンプを使って、プリンターのデータ受信に関する問題のうち一部のタイプのもので判別することができます。

16 進数コードの印刷出力を得るには、216 ページを参照してください。

注: 16 進数モードでの印刷は、オペレーター・パネルからか、ホスト・コンピューターによって設定された印刷属性を変更することができます。これらの属性は 16 進印刷モードを終了した後にはリセットする必要があります。IPDS で印刷中はこのモードは使用できません。

電源オン状態

このパラメーターにより、プリンターを READY モードまたは NOT READY モードで電源がオンになるように構成することができます。

紙詰まり検出

このパラメーターは、紙詰まり検出をアクティブにするかどうかを決定します。ENABLE (デフォルト) に設定すると、紙詰まりが検出され、DISABLE に設定すると、見かけのエラーを防ぐため、紙詰まり検出が使用不可となります。

注意

紙詰まり検出が使用不可にされると、プリンターは用紙の動きをモニターしません。紙詰まりが発生しても、プリンターはその状態を無視して、印刷し続け、プリンターへの重大な損傷を生じさせることがあります。

用紙速度

FORMS SPEED は、用紙がプリンターのスタック部に入っていき速度に影響を与えます。

- NORMAL SPEED (デフォルト) では、1 枚のデータ処理用紙などを高速度で用紙を送りながら積み重ねます。
- SLOW SPEED では、より遅いペースで用紙を送り、積み重ねます。これにより、複数つづり (つまり、送り状) などの用紙をきちんと積み重ねることができます。

プラテンを用紙の下端に設定

特殊な用紙の中には、他の部分より厚くなっているミシン目部分の付いているものがあります。このタイプの用紙を使用するときは、このパラメーターを使用可能にします。このパラメーターで open が選択されると、用紙の他の部分より厚いミシン目がプラテンを横切るときに、プラテンは開閉します。

このタイプの用紙で印刷品質を維持するためには、用紙が厚くなっている部分（ミシン目の前後）に印字することを避けるために、第 1 印刷行と最終印刷行の位置を設定します。187 ページの Forms Length (用紙長) を参照してください。

注: このパラメーターを使用可能にするときは、用紙長を、各ミシン目間の物理的な距離と一致するように設定する必要があります。

シャトル・タイムアウト

SHUTTLE TIMEOUT パラメーターは、印刷停止後にシャトルが作動し続ける時間を決定します。これによりシャトルは、印刷ジョブが頻繁に到着するとき、各印刷ジョブ間に、移動を続けることができます。印刷ジョブがプリンターに到着したときにシャトルがまだ移動している場合には、プリンターはシャトルがその作動速度に達するのを待つ必要はないため、時間が節約されます。

省電力タイマー

このパラメーターは、電力による大気汚染を減らすために、プリンターが使用されていないときに電力消費量を減らすのに役立ちます。この機構を使用すると、エネルギーを 50% を超えて削減することができます。

ENERGY SAVER TIMER は、印刷停止後にプリンターが電力を削減するまでの時間を決定します。エネルギー節減モードは、エネルギー節減の活動化時間を即時から 60 分まで選択することができます。選択項目は、即時、5、10、15、30 秒、および 1、5、10、15、30、45、60 分です。デフォルトの時間は 15 分です。

注: プリンターが NOT READY である間にエネルギー節減モードに入る場合、「Start」キーを押すことにより READY にされるまでプリンターはジョブを印刷しません。

OCR フォント密度

OCR FONT DENSITY は、OCR A および OCR B 文字セットの印刷品質を決定します。次のオプションを使用することができます。

- **120** (デフォルト。) 縦方向が 144 で、水平方向が 120。
- **180** 縦方向が 144 で、水平方向が 180。

注: 高い解像度を選択するほど、印刷速度は低下します。解像度を選択する際は、アプリケーションが要求する解像度品質と印刷ジョブを印刷したい速度のバランスを取るようにしてください。

排出/復帰

EJECT/RESTORE パラメーターは、ユーザーが「Eject/Restore」キーを押すときにプリンターがどのように動作するかを制御します。次のオプションを使用することができます。

- STANDARD (デフォルト)
- TOP EXIT TEAR (脚柱モデルのみ)

STANDARD モードが選択されるとき、「Eject/Restore」キーは次のように作動します。

- 「**Eject/Restore**」を押すと、用紙は事前設定された距離である 22 インチだけ前に進みます。
- 「**Ready**」を押すか、「**Eject/Restore**」を 2 度押すと、用紙は元の位置に戻ります。

注: この機能を使用して用紙を切り離す場合、「**Eject/Restore**」機能を使用する前に「**Form Feed**」を押したい場合があります。これにより、用紙は元の位置に戻されるので、用紙を取り外さなくて済みます。

TOP EXIT TEAR モードが選択されるとき、「**Eject/Restore**」キーは次のように作動します。

- 「**Eject/Restore**」を押すと、用紙は最後に印刷された用紙の下端を切り離し位置の前に進めさせ、オペレーターが印刷された用紙を切り離せるようにします。
- 「**Eject/Restore**」を 2 度押すと、用紙は、印刷に使用可能な最初の可能な用紙の上端が印刷できる位置になるように移動します。(用紙移動の方向と量は、用紙の長さによって決まります。1 ページまたは複数ページのブランク用紙がスキップされます。)

注: TOP EXIT TEAR 設定は、脚柱モデルのプリンターでのみ意味があります。
TOP EXIT TEAR は、キャビネット・モデル・プリンターでは選択することができません。

TOP EXIT TEAR モードが正しく機能するには、用紙長を正しく設定する必要があります。

PTR セットアップ・オプション

このオプションでは、PTR_SETUP コマンドおよび機能用の特殊機能制御コード (SFCC) を選択します。このプロセス用の選択項目は下に示されています。

- **Parse セットアップ**。この選択項目は PTR セットアップ・オプションを使用可能または使用不可にするのに使用されます。デフォルトは使用不可です。
- **SFCC セットアップ**。01 ~ FF の FF (用紙送り文字) 有効な 16 進値を設定します。これらは SFCC として使用される文字の ASCII コード (16 進数) を表します。デフォルトの 16 進値は 21 です。これは「!」文字に対応します。

ファイルシステム

フラッシュ・メモリー内のファイルをリスト、表示、および操作する手段を提供します。次の選択項目が使用可能です。

- **上書き**。この選択項目は、フラッシュ・メモリー内のファイルを上書きすることができるかどうかを制御します。デフォルトの選択項目 **Enable** では、ファイルは上書きされます。選択項目が使用不可にされると、ファイルは上書きすることができません。
- **ファイルの表示**。この選択項目は、フラッシュ・メモリー内のファイルのリストを提供します。「**Scroll ↓**」キーを押すと、ファイル・サイズを表示することができます。
- **ファイルの削除**。この選択項目は、フラッシュ・メモリー内のファイルのリストを提供します。「**Enter**」キーを押すと、表示されたファイルがフラッシュ・メモリーから削除されます。

- **最適化とリブート。**この選択項目が表示された状態で「**Enter**」キーを押すと、フラッシュ・メモリー・スペースがレクラメーション処理され、プリンターをリブートします。

重要: プリンターがリブートを完了し、Ready または Not Ready のどちらかになるまで、プリンターの電源をオフにしないでください。

- **ファイル・リストの印刷。**この選択項目が表示された状態で「**Enter**」キーを押すと、プリンターはフラッシュ・メモリーに保管されたファイルの要約を印刷します。ファイルシステムの使用に関する統計も印刷されます。

パワー・スタッカー

このパラメーターは、パワー用紙スタッカーが使用可能（これがデフォルトです）か、使用不可であるかを決定します。パワー用紙スタッカーが取り付けられていない場合は、このパラメーターは表示されません。

印刷行選択

印刷に使用するハンマー・バンクの列（上または下）を決定します。

注: このオプションが使用できるのは 6400-i20 モデルのみです。

- **バーコード検出。**両方のハンマー・バンク列（上または下）を使用して、バーコード以外のその他のすべての情報を印刷します。
- **グラフィックス検出。**1 つのハンマー・バンクのみを使用して、グラフィックスとバーコードを印刷します。
- **デュアル。**可能な場合は、両方のハンマー・バンクを使用します。
- **シングル。**選択したメニュー・オプションに従って、上または下のハンマー・バンクを使用します。

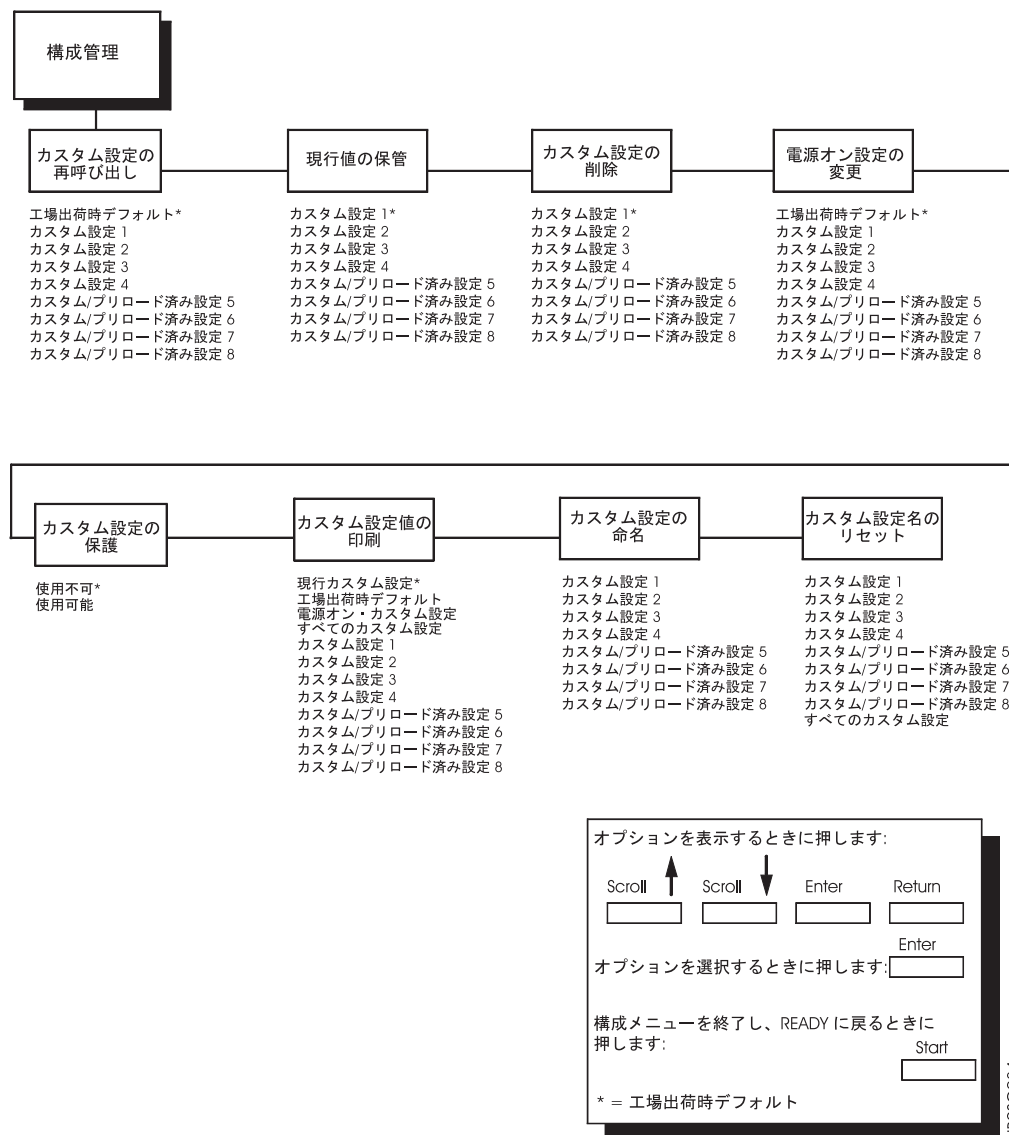
シングル・バンク選択

このプリンターには、上下のハンマー・バンクを備えたデュアル・ハンマー・バンクが装備されています。ハンマーの破損などの問題があった場合などに、上下のハンマーを選択できます。診断ルーチンでは、上下のハンマー・バンクを交互に使用しますが、このような使用法は、トラブルシューティングのときのみにして、通常の操作では使用しないことを推奨します。

注: 診断について詳しくは、「*Maintenance Information Manual*」を参照してください。

構成管理メニュー

構成管理メニューを使用すると、印刷ジョブに必要な仕様に従ってプリンターの構成内容を制御できます。



カスタム設定の再呼び出し

プリンターは 8 つのカスタム設定を NVRAM に保管することができます。このパラメーターにより、特定のカスタム設定を選択して、ロードすることができます。

工場出荷デフォルト値は、工場ですべて事前設定されたカスタム設定です。そのパラメーターは変更することができません。これは常にロード用に使用できます。

カスタム/プリロード済み設定 5 ~ 8 には、このプリンターの設置および構成を援助する構成設定が含まれています。これらの設定は工場ですべてプリロードされています。

す。これらの設定が使用されない場合は、それらを削除して、新しいカスタム設定を作成することができます。次のものは、カスタム/プリロード済み設定 5 ~ 7 の簡単な説明です。

- **カスタム/プリロード済み設定 5** は、このプリンターを Printronix プリンターと同様に機能するように構成するとき使用されます。このカスタム設定には、Printronix 互換プリンターによって使用される ASCII エミュレーションが、初期デフォルト (Overstrike や、Auto LF、など) とともに入っています。初期 ASCII デフォルト・エミュレーションは P-Series ですが、いくつかのアプリケーションではこれを P-Series XQ または Serial Matrix に変更する必要があります。詳しくは、本プリンターとともに配送される Configuration Utility Diskette、または「6400 ASCII Programmer's Reference Manual」を参照してください。
- **カスタム/プリロード済み設定 6** には、Epson および Proprinter のデフォルト値を使用しての ASCII プリンターのデフォルト設定が含まれます。これは、プリンターに同軸/平衡型機構があるときは役に立つ場合がありますが、ASCII プリンターとして稼働する場合もあります。詳しくは、「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」を参照してください。
- **カスタム/プリロード済み設定 7** には、IPDS をもたない平衡型プリンター用のデフォルト設定が含まれます。これは、プリンターに IPDS 機構が含まれるときに役立ちますが、非 IPDS プリンターとして使用する必要がある場合もあります。詳しくは、「6400 IPDS Programmer's Reference Manual」または「6400 Coax/Twinax Programmer's Reference Manual」を参照してください。

現行値の保管

このオプションにより、さまざまな印刷ジョブ要件に合わせてカスタム設定を保管することができます。これにより、新しいジョブごとにパラメーター設定を変更する必要はなくなります。

カスタム設定は NVRAM に保管されます。これらはプリンターの電源がオフにされても失われません。

工場出荷時のデフォルトは、工場ですべて設定されたカスタム設定で、変更または保管することはできません。

重要: PROTECT CUSTOM SETS パラメーターが使用不可になっている場合、新しいカスタム設定は既存のカスタム設定を上書きします (たとえば、新規のカスタム設定 4 は既存のカスタム設定 4 を上書きします)。ここに記載されている「カスタム設定の保護」を参照してください。

カスタム設定の削除

カスタマイズあるいはプリロード済みカスタム設定の 1 つまたはすべてを削除することができます。工場出荷時のデフォルトは、工場ですべて設定されたカスタム設定で、変更または削除することはできません。

電源オン設定の変更

どのカスタム設定を電源オン・カスタム設定にするかを指定することができます。プリンターは、工場ですべて設定された値あるいはカスタマイズされた構成の 1 つを使って電源をオンにすることができます。

カスタム設定の保護

PROTECT CUSTOM SETS オプションは、SAVE CURRENT VALUES パラメータを活動化するときに、新しいカスタム設定が既存のカスタム設定を上書きすることができるかどうかを指定します。

- DISABLE (デフォルト) では、保護がオフとなり、既存のカスタム設定を上書きすることができます。
- ENABLE では保護はオンになり、既存のカスタム設定を上書きすることができなくなります。既存の設定を保管しようとする、次のオペレーター・パネル・メッセージが表示されます。

043 CUSTOM SET ALREADY EXISTS DELETE FIRST

新しいカスタム設定を保管しようとする前に、既存の設定を削除する必要があります。

カスタム設定値の印刷

このオプションは、保管されているさまざまなプリンター・カスタム設定のリストを印刷するのに使用されます。カスタム設定の印刷出力は、すぐに参照できるように安全な場所に保管しておくことをお勧めします。

カスタム設定の命名

カスタム設定を表すのに使用できる 39 文字の名前を指定できます。カスタム設定の名前として入力した名前は、「カスタム設定の再呼び出し」、「現行値の保管」、「カスタム設定の削除」、「電源オン設定の変更」、「カスタム設定の保護」、「カスタム設定値の印刷」、「カスタム設定の命名」の各メニューに使用されます。この名前を消去できるのは、「カスタム設定名のリセット」メニューのみです。

MICRO UP キーまたは MICRO DOWN キーを押して、カーソル位置で使用可能な文字の値を循環させます。次に変更する文字に移動するには、SCROLL UP キーを押します。変更した文字に戻るには、SCROLL DOWN キーを押します。この操作を続けて目標のカスタム設定に付ける名前を入力し、ENTER キーを押して保管します。この操作により、カスタム設定は、入力した名前プリンターのフロント・パネルに示されます。名前を保管せずにこのメニューを終了するには、Enter キー以外の任意のキーを押します。カスタム設定名は以前に保管された値に戻ります。

カスタム設定名のリセット

の特定のカスタム設定名は、デフォルト値の構成番号にリセットできます。